

# となりの人と あいさつをしましょう

## 掃水まちづくり協議会 たより

平成19年12月17日  
掃水まちづくり協議会  
NO. 14

見出しの標語は、掃水まちづくり協議会の中心的運動標語です。  
地域の皆さんのあいさつへの協力をお願いします。

### 地域のつながりを求めて

産業振興部主催

クリーン作戦を終えて

当日は好天に恵まれ、まさに小春日和という暖かい一日でありました。協議会の「皆が元気で仲良く楽しいまちづくり」という考えに基づき二つの目標をもち実施しました。一つは、櫛田川の堤防をクリーンにすること、二つは、地域の皆がこの機会に仲良く親しくつながることです。これらについては大成功であったと思います。

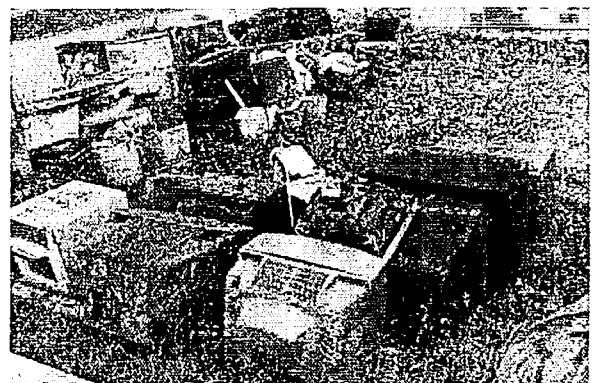
また、今年は小中学生にも環境問題や地域の人との交流をしながらの行事を自覚してもらうために参加を呼びかけました。中学校では校長先生をはじめ、学校ぐるみの働きかけもあり約五十名の生徒や先生が集まり、地域の老若男女が集う頼もしい作戦になりました。また今回の作戦には各自治会

調理ボランティアの皆さん



長や町内会長、組長さんらの努力の甲斐あって三百人という大人数が集まり人数的にも大成功でありました。昨年に比べいんな人との交流があったのではないのでしょうか。  
堤防のすそのには多くの量のゴミが捨てられていました。  
燃えるゴミ 二七〇キロ  
粗大ゴミではテレビ七台、自動車タイヤ十数本、単車三台、ベッドなど。(下の写真)

集まった粗大ゴミ



ボランティアの方々の料理の上手さもあり、皆さん清掃の後、具の多い温かいさといも汁を「フーフー」息を吹きかけながらおいしくいただき、話も弾んだことと思います。  
この作戦は事前の準備、事後の片付け等に多くの人の手により成り立っています。また、汁の具材(里芋、大根、ごぼう、長ネギ)のほとんどを無料提供していただきました。

十一月二十五日の  
クリーン作戦に参加して

☆ 東部中 三年生

法田町 川北 純平

僕は十一月二十五日の日曜日

の朝、掃水まちづくり協議会主催のクリーン作戦に参加しました。

僕は、漕代地区ですが、櫛田川は地元の川でとても愛着があります。地元が美しくなることは、とても嬉しい事なので積極的に参加することにしました。  
当日は、三百人を越える人たちが参加していたそうです。東部中生だけで五十人ほど参加していました。僕たちは東部中の周りのゴミ拾いをしました。特に多かったのが、ペットボトルやタバコ、カンなどです。しかし、テレビなどの電化製品なども捨ててありました。それにはすごく驚きました。

僕たちが拾ったゴミは、軽トラ四、五台もあったそうです。そんなゴミがあるということとは櫛田川の周りとはとてもよごれているのだと思いました。でも、それだけのゴミを拾ったのだから、少しでも美しくなったと思います。来年からこの協議会は、僕たちの住んでいる漕代地区の人たちとも一緒にやろうと考えているそうです。来年はもっとたくさんの人たちが参加し、もっと美しい町になってほしいです。

このボランティアに参加して考えたことは、ゴミを拾えば確かに (裏に続きます)

川や道は美しくなるけれど、きつとまた、すぐゴミが捨てられて汚れてしまうでしょう。いくら拾っても本場の解決にはならないでしょう。皆でゴミを捨てない意識を持つことが大切です。ポイ捨てを止めるために、ゴミ箱を置いたり、立て札を立てたりもつとやる必要があります。ゴミ拾いをする一方でゴミを捨てさせない活動をこれからやっていくべきだと思います。

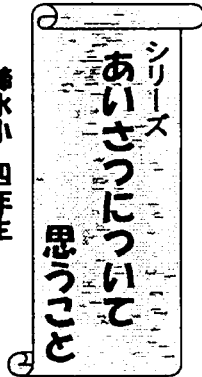
次回はもっと多くの友だちを誘って参加をしようと思っております。

☆ 東部中 一年生

菅生町 木田 朱音

「ゴミ拾いをしよう」  
改めて感じたこと！

十一月二十五日に掃水地区に住んでいる人たちが東部中の周りを掃除しました。初め、あまりゴミは落ちてないと思っていましたけど、思っていた以上に落ちていたし、ゴミはすごく汚いものでした。中でもタバコの吸いがらがあるところに着いていました。大げさかもしれないけれど、皆で協力してこの地球をきれいにできると思うと、皆で町の掃除すること、はとてよいことだと思えました。それぞれがゴミ拾いをする



掃水小 四年生

伊賀町 辻 佳弥

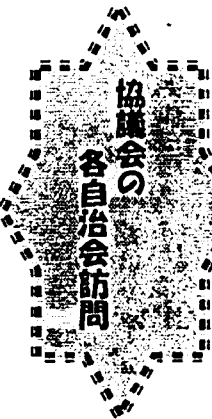
登校するとちゅう、元気なおばあさんに会います。そのおばあさんは、いつもわたしに、「おはようございます。行ってらっしゃい。」と、あいさつをされます。その時はわたしも、「おはようございます。」と、あいさつを返します。

地震対策！  
三日間の食糧備蓄

わたしは、初めあいさつをするのがなかなかできず、あいつをみると、何となくはにかしかったからです。でも、毎日あいさつをしていくうちに、あいさつをするのが楽しくなってきました。今では、わたしの方から先におばあさんへあいさつをするようになってきました。

また、学校でも初めはすごくきんちようしてしまってた言えな

かっただけれど、今は友だちや先生にあいさつを言えるようになりました。あいさつには、「おはよう。」以外にも、感しやを表す「ありがとう。」、あやまる時のあいさつ「ごめんなさい。」、部屋に入るとき「あいさつでしつぱいします。」などいろいろあります。その時にあったあいさつを自分で言えるようになっていきたい。



まちづくり協議会では、年末年始にかけて、各自治会を訪問させていただきます。各自治会の集開催時に時間を割いていただき、三〇四十分程度の話し合いをさせていただきます。

当日は協議会の基本的な考えや本年度の行事の説明と、次年度の自治会長さんの選出についてお話しします。自治会長さんは地域の要になります。自治活動により積極的に取り組まれる方の選出をお願い致します。また後半は地域の方々の協議会に対する疑問、要望等を聞かせていただき、少しでも皆様の意向に合った協議会活動を実施したいと思います。

協議会の自治会訪問について

安楽天神での参加者



皆様の協力をお願いします。既に決まっている日程について

- 安楽町 十一月二十四日実施済
- みどり苑十一月二十七日実施済
- 山添町 十一月八日実施済
- 伊賀町 十一月九日実施済
- 山下町 十一月十一日
- 菅生町 二月三日
- 豊原町 二月九日
- 清水町 二月十七日

ふれあいウォーキング  
公民館活動部  
平成十九年十二月九日(日)

当日は穏やかな好天に恵まれ、集合時間の九時には、昨年より約百名多い百三十名の皆さんが安楽天神の境内に集まりました。この数の多さは、すごいもので誰も予想をしていませんでした。おかげさまで、参加者に予定を

ウォーキング中の皆さん



していたくじ引きの賞品やせんざいの量が全く足りなくなってしまう、準備をする裏方は、皆さんのウォーキング中に急ぎよ調達に走りまわりました。会場では、天神様にまつわる

いろんな話を中西公民館長より聞かせていただき、九時半から約四キロを、一時間半ほどかけて楽しく歩きました。途中の木々の紅葉は大変綺麗で日ごろのあわただしさを忘れさせてくれました。

休憩地の山下池を見渡す高台からは、五年後にできる運動公園の話や市の職員から聞いたり、三宅前館長より周辺の松商、中谷団地、少し遠くの榎田橋、明和ジャスコ、遠くの日本鋼管、伊勢湾などの説明を聞きながら眺望を (二枚目に続きます)

楽しみました。  
 天気の良い日には富士山が見えるときもあるそうです。

また、市の水源地では、三つのタンクの説明を聞き、最後に誰も上ったことのない一号タンクの上に立ち自分たちの地域を眺めました。

快い汗をかいた後の安楽天神では、安楽町の皆さんの振舞うぜんざいをおいしくいただいたり、くじを引いたりして楽しい三時間を過ごしました。

花いっぱい運動

青少年育成環境部

青少年育成環境部では、本年度の行事計画でプランターに花を植え、地域の主な施設へ設置しようという計画を持っていました。そのため九月から腐葉土を入れた土作りを始め、やっとなりになりました。

十一月三十日(金)の午後一時四十五分から、センター前で、四年生の三十九名が総合学習の時間を利用して「花いっぱい運動」に参加をしました。青少年育成環境部が中心になり、豊原町の老人会の人たちの助けを借りながら子どもたちの指導にあたりました。

森坂さんの説明を聞く子どもたち



子どもたちの作業の様子



初め、子どもたちは慣れないせいか花植えや土入れ作業などに戸惑いながらの移植作業でした。しかし、要領が分かるにつれ、子どもたちも元気になり作

業をどんどんこなしました。あとという間に約九十個のプランターには「パンジー」や「ピオラ」が見事に植えられました。花の植わったプランターは、早速、青少年育成環境部の皆さんが、小学校の玄関先、市民センター前、JA松阪の本・支店、第三銀行、九つの自治会の集会所前などに運んで設置されました。今はきつと地域の皆様に喜ばれていることと思います。

花いっぱい運動に参加して

掃水小 四年生

榎田町 前川 未玖

わたしたち四年生は、「花いっぱい運動」に参加しました。掃水まちづくり協議会の人たちに、花の苗の植え方を聞いて植えていきました。植える花の苗は、大きい花びらをしたパンジーと、小さい花びらをしたピオラの二種類で、色はいろいろありました。

植える作業は、最初はむずかしかったけれど、三回目ぐらいになるとじょうずにできるようになりました。一つのプランターに、四つの花の苗をならべて植えると、とてもきれいでした。

わたしたちが植えた花の苗はいろんな所においてももらえるそうです。この花のように、

プランターに移植中の子どもたち



この町がきれいになったらいいなと思います。

ふたごのついでに

保健福祉部

平成二十年一月十九日(土)

場所 市民センター

- 受付 九時三十分より
- 開会 十時より
- 対象者 小学生以上の方
- 持ち物 エプロン、三角巾、手ふきタオル、持ち帰り用の容器
- 参加費 ひとり百円
- 定員 三十名
- (応募者が多い場合は二回に分けます。)
- 締切日 十二月二十五日まで
- 申し込み先 市民センター
- 十七日現在、二十四名の申込みがあり、少し余裕があります。子どもと共に参加して昔の食べ物を含一度味わってみましょう。

只今、(12/11~/20)  
**年末交通安全運動期間中!**  
 一人ひとりが自分の運転を  
 振り返ってみましょう。